

バス事業所におけるXADO製品の試験報告書

PAZバス： エンジン分解不要で 圧縮圧力を均一化

ストゥピノ市旅客自動車運送企業（モスクワ州） ・ 承認：社長B.I.ユラソフ、署名：技師長N.I.ティリキン
ロシア、モスクワ州ストゥピノ市 ・ 処理：2007年8月24日 ・ 確認測定：2007年9月6日 ・ 試験報告書：2007年9月10日付

製品

XADOゲル状リバイタリザント（摩擦面再生剤）
ガソリンエンジン用
6回に分けた段階的処理・
Antikoksによるカーボン除去・
Vita Flushによるフラッシング・
エンジンオイルXADO Atomic
Oil 10W-40

試験対象

路線運行中のPAZバス2台
登録番号A 944 maおよびT 642
mkh・8気筒ガソリンエンジン

文書の種類

実機試験報告書、
旅客自動車運送企業の社長
承認

機械類	試験開始時の状態	測定項目
PAZバス、登録番号A 944 ma	路線運行中のエンジン、最大 80% の摩耗	気筒別圧縮圧力（ 8 気筒）、潤滑油圧力
PAZバス、登録番号T 642 mkh	路線運行中のエンジン、最大 80% の摩耗、第 2 気筒の圧縮圧力の著しい低下	気筒別圧縮圧力（ 8 気筒）、潤滑油圧力

処理は運転中のエンジンに対し、分解せずに、車両の稼働を止めずに実施した。摩耗の評価は事業所の試験報告書による。

主な結果

↑ **3-17 %**

エンジンA 944 maの気筒別圧縮圧力、9.5～11.2 → 10.0～11.2

気筒間の圧縮圧力の均一化

気筒別圧縮圧力：両エンジンの処理前後

気筒	A 944 ma、処理前	A 944 ma、処理後	T 642 mkh、処理前	T 642 mkh、処理後
第1気筒	9.8	10.6	10.9	11.0
第2気筒	10.4	10.5	5.8	10.5
第3気筒	9.6	11.2	10.3	11.0
第4気筒	10.5	10.9	11.0	11.5
第5気筒	11.2	11.2	11.5	11.6
第6気筒	9.6	10.4	11.3	11.3
第7気筒	10.6	10.9	11.1	11.3
第8気筒	9.5	10.0	11.8	10.8
気筒間のばらつき	1.7	1.2	6.0	1.1

処理前の測定は2007年8月24日、確認測定は2007年9月6日に実施した。圧縮圧力の単位は試験報告書に記載されていない。

ストウピノ市旅客自動車運送企業の試験委員会の結論

エンジンは最大**80%**の摩耗状態で運用に投入されており、T 642 mkhのバスでは第2気筒の圧縮圧力が**5.8**と、残る7気筒の**10.3～11.8**に比べて著しく低かった。処理後、同気筒は**10.5**に達した。なお、増加量の大部分は処理当日ではなく、その後13日間の通常の路線運行中に生じている。事業所の試験委員会は次のとおり記録した。(1) XADOの再生剤による内燃機関の処理後の圧縮圧力および潤滑油圧力の測定値は、長期間の運用による著しい摩耗にもかかわらず、エンジンの作動が改善したことを示している。(2) XADOのエンジンオイルおよびゲル状リバイタリザントの使用効果は、処理前後のエンジンのパラメータの測定値だけでなく、運用中のエンジン運転の円滑化、加速性能および出力の向上によっても裏付けられている。

XADO

© XADO。無断転載禁止。
本結果は、寿命のかんりの部分を消化したPAZバスのガソリンエンジン、および市内路線運行の条件に関するものである。他の機械類では測定値が異なる場合がある。試験報告書の原本は全文を公開しており、ダウンロード可能である。処理は製品の供給元であるXADO有限責任会社モスクワ駐在員事務所が実施した。